

最上川



倫理経営企業の素顔

第7回 山形市蔵王倫理法人会 山形小松フォークリフト株式会社

写真は左から
田村悟取締役総務部長
池田修一社長
栗原忠信取締役営業部長

目次

鈴木隆一会長 挨拶…………… 2	女性倫理講演会…………… 8	単会トピックス…………… 15
庄内中央倫理法人会設立…………… 4	山伏修行体験塾…………… 9	倫理を学んで…………… 18
1600社に向けて…………… 5	ブナ文化フォーラムに参加して…………… 10	りんりん基金タグポート支援…………… 19
MS委員会…………… 6	倫理経営企業の素顔(第7回)…………… 11	故中村俊光氏を偲ぶ(寒河江市)…………… 20
全ては社風と社員パワー…………… 7	設立記念式典(長井市・天童市)…………… 14	編集後記…………… 20



社団法人 倫理研究所
山形県倫理法人会

成長の喜び、仲間づくりの喜び。



山形県倫理法人会

会長 鈴木隆一

夏を楽しむ

紅花から花笠まつりへ、そして花火大会へと季節が進んでいきます。朝日のまぶしさ、涼風の心地よさに感動し、自然が与えてくれる心の充実に感謝しています。夏本番を迎え、会員のみなさまが元気健康で過ごされまますようお願い申し上げます。

大自然のエネルギーに満たされて

去る7月2日(月)、3日(火)の二日間、羽黒山において「第一回山伏修行体験塾」が開催され、22名が参加し無事終了しました。山形県倫理法人会の青年委員会が、「冬は富士研、夏は羽黒山伏修行」を合言葉に今年初めて企画開催した新行事で、池田知之委員長をはじめ関係者の情熱に心から敬意を表します。石段登り、座禅、南蛮いぶし、月山登山、滝行、火渡りなどを行い、「辛い修行もあつ

たが、とても貴重な体験ができた」と笑顔で報告してくれました。今後の発展が楽しみです。

また、7月7日(土)、8日(日)には「第20回ブナ文化フォーラム」が小国町の温身平、旧小玉川小中学校、そして梅花皮荘を舞台に開催され、50名が参加しました。ブナ文化フォーラムは平成4年から行われ、毎回ブナの森に入って自然の豊かさに触れ、生きる喜びを分かち合う山形県倫理法人会の伝統行事です。

第20回を迎えた今年は地元小国町の方々と話し合い、どうしたら地域が活性化するか、参加者一人一人が意見を発表しました。懇親会でも小国の方々と笑顔で交流し、互いの幸せを願う仲間意識を育みました。お世話を務めていただいた米沢市倫理法人会のみなさん、誠にありがとうございました。

山形県の豊かな自然や個性ある伝統文化は過去現在未来の人々をつなぎ、今を生きるみんなをつなぐ宝物です。ぜひ次代に伝えていきたいと思えます。小国町に限らず県内各地域で人口減少が進んでいます。今後独自の価値を磨いて生き残り、一層魅力ある地域に発展してほしいと思えます。倫理法人会の各

企業がその発展のお役に立つことができるよう倫理経営に努め、地域を支える倫理経営企業群としてみんなで成長できたら素晴らしいと思えます。

設立運動から学んだこと

今年度も残すところあと1ヶ月となりました。平成24年度を振り返れば、昨年9月28日に県内第12番目の倫理法人会として山形市中央倫理法人会が見事に設立。現在、布施富將会長を先頭に他の先輩倫理法人会に負けない立派な活動を展開しています。会員のみなさんがそれぞれの生活や企業経営の中で純粋倫理を実践し、「変わり始めた」といううれしい報告が聞こえてきます。私はある会員から「設立してくれて、ありがとう」と言われました。設立運動に携わった一人としてこれ以上の喜びはありません。「ひとの喜び、わが喜びに」という言葉の奥深さを学びました。

5月24日には県内13番目の庄内中央倫理法人会が設立、113社で堂々たるスタートを切りました。この設立運動から学んだことは第一に、出会いのうれしさです。町長をはじめ商工会長、病院、学校そして企業の方々に

お会いし、みなさんの仕事への情熱や使命感、深いふるさと愛に触れて感動しました。そして、これからこの地域で行う倫理法人会の活動によって、仲間としてみなさんのお役に立ちたいという思いが強まりました。

第二には、「倫理の仲間がたくさん助けってもらった、ありがとう」という感謝の思いです。会長指名を真正面から受け止めてくれた富樫幸吉会長、庄内に第三の単会を作りたいと私が最初に相談し、先頭を走り続けてくれた菅原勝安実行委員長、庄内と山形を往復する車中でたくさん語り合った晋道純一幹事長、そして多くのおみなさまに助けていただきました。

第三には、人の上に立たせていただくリーダーだからなおさら、「明るく、仲よく、喜んで働くこと、いつも純情な心で働くこと」が大切だと思いました。リーダーの心が曇ると決断が曇り、周りの仲間の心も曇ります。だからリーダーこそ、苦しい時こそ「一人光る、皆光る」という強い意志で明朗・愛和・喜働を実行しようと思いました。

平成24年度から25年度へ

倫理法人会の一年は9月に始まり8月に終わります。ですから毎年6、7月はその年度の普及拡大目標達成の追い込みの季節です。今年も暑い中お忙しい中、熱心に活動してく

れた県内各地の会員のおみなさまに深く感謝申し上げます。

前年の平成23年度は昨年8月にお陰さまで目標の1,450社を達成しました。平成24年度もこの8月に目標の1,600社を達成し、9月から始まる新年度平成25年度には新たな目標、1,750社を目指します。

普及活動の意義

私たちが自分の周りの方々に純粋倫理との出会いを提供することで、その方々がご自分の家庭や会社の問題を解決して幸せになれる、それは私たちにとってもたいへんうれしいことです。さらに、その方々の中からできるだけ多くの方々が「地域の発展のお役に立ちたい」と願い、日本を創造的に再生する「日本創生の運動に参加したい」という願いを持ってくれたなら、それはとても価値ある前進です。私たちのふるさとが、そしてこの日本が立ち直る契機となるからです。何事も私たちの心が先です。願いが先行し、外部環境は後から変わるものです。

倫理の実践には成長の喜びが伴いますが、普及にはもっと大きな喜びが伴います。自他共に幸せになる喜びです。ですから、より多くの仲間により普及活動を体験してほしいと願っています。倫理法人会の使命とは、仲間づくりではないか？倫理の喜びとは、仲間づくり

の喜びではないでしょうか？

平成25年度、堅固な組織づくりを

倫理法人会がその重要な使命を果たすためには組織の充実を図り、「堅固な組織」を構築しなければなりません。平成25年度はその初年度となります。そしてこの7月8月は平成25年度の活動計画を作成する重要な期間です。みんなの英知と情熱を出し合って、希望の明日を切り拓こう。



113社でスタート!

庄内中央倫理法人会設立

庄内のご真ん中に庄内中央倫理法人会が113社をもって設立されました。県内13番目、国内718番目の単会です。5月24日に設立記念式典が厳かに挙行されました。

●庄内中央倫理法人会の特長

庄内中央倫理法人会の持つ特長とは何か? それは次の5点です。

- ①市ではなく町に初めてできた単会であること。
- ②企業経営者だけではない、オール庄内的な官民一体の単会であること。
- ③独自のセミナー会場兼事務局を有していること。
- ④事務員の教育、役員の意識改革、会の運営等にもかまがゼロからのスタート。
- ⑤人口の少ない地域であっても単会が設立可能であることが証明できたこと。



この設立運動を通して、人口が減少傾向にあり、事業規模の小さい企業が大半を占めている地域であっても「やれば100社で設立できる」という強い確信を共有できたことは

大変大きく、今後の新単会設立運動に対して勇氣と希望を与えてくださいました。

●國分専任幹事が設立に至る経過を報告。

寒風吹きすさぶ平成24年2月21日、菅原勝安県副会長が実行委員長となり庄内中央倫理法人会設立実行委員会が発足。

3月初めにはようやくセミナー会場兼事務局が決定。本格的に設立運動が始まり、4月になって普及活動が活発化。設立1ヶ月前に富樫幸吉氏が会長予定者と決まり、周囲の協力が増えて着々と準備が進みました。

設立までの間、14回もの実行委員会や準備委員会を開催し、酒田市、鶴岡市の役員の皆さまをはじめ、県役員の皆さま、合同事務局のスタッフ、新たにご入会いただいた会員の皆さまの奮闘ぶりには言葉で言い表せないくらい力と勇氣をいただきました。どうか今後も暖かく見守っていただきたいと万感の思いを述べました。

●地域活性化の原動力になる。

中村恒一法人SVは式辞の中で、自分たちの住む地域を少しでも向上させようと地道な

努力している姿勢に裏付けされた活動にこそ世の中を変えていく真の力があるのです。そのメインポールとなるのが倫理学習の拠点づくりであり、法人会活動であります。経営者自らが自己革新をはかることで、家庭や職場がより良くなり地域が活性化することで、立派で豊かで美しい国、日本の再建は自ずからにして完成されていくものと信じています。と激励の言葉を述べられました。

●庄内のどまん中から日本創生へ。

鈴木隆一会長は挨拶の中で、庄内中央の設立運動自体が倫理の絶好の実践の場、素晴らしい学びの機会でありました。そして、これから庄内中央倫理法人会の新しい倫理運動が始まりますが、それは、自己の革新と倫理経営を実践する運動であること。また、庄内の人々が皆幸せになるようにと強く願



い、地域の発展に貢献する運動であること。そして大志を胸に庄内のどまん中から日本創生に参加する運動であることを強調。今後の飛躍に大きな期待を寄せておられました。

1,600社に向けラストスパート



山形県倫理法人会
普及拡大委員長 桜井 仁

この度、庄内中央倫理法人会は113社の新及び移籍会員のもとで見事立ち上がり、5月24日（木）に設立式典と祝賀会が挙行され、倫理研究所及び県下の役員会員の方々が喜びに酔いしれて、またひとつ希望の星が庄内に輝き始めました。

その希望の星が山形県1,600社達成に大きな弾みと勇気を与えてくれた事は言うまでもありません。併せて早期に目標達成する事と、行動を起こす動機づくりとなるべく願いを込め、計画指導書を提示して、単会との連絡をとり合いましたが、一向に動きが見えて来ない状況でありました。

ただ、二、三の単会は独自の目標と行動を起こし、既に目標突破し、或いは目標に向けて着実な動きをしており、その気概には頭が下がる思いであります。

また懸命な努力にも関わらず、数字が見えて来ない単会があった事も否めないでしょう。

山形県は他の県と比べれば、退会も少なく、着実に地道に伸びて来ていると他県から評価をされていると聞きますが、渦中の私共にはその認識がありません。ただ、方面会、レクチャラー会等に参加し、他県の状況と普及目標を拝見すると考えられないような数値で、ウルトラCの登場となるようであります。

昨今、県では数値目標達成も然る事ながら「倫理は楽しい」「普及はうれしい」の思いを抱き、相手の幸せを願って「正しい普及」を実践しよう。また早期に行動を起こし、組織的に動き、それを数値にして普及状況を確認して行こうと指導して参りました。

徐々にではありますが、目標達成がうれしいのではなく、普及することがうれしいと心境を変え、またワクワクドキドキ感で、自ら学び、それを周りにお伝えして行こうという風も、吹き始めています。

目標数が開いて参りますと、どうしても足が前に出なくなりませんが。

・まずは、純増5社を目指し、行動を開始する。

・倫講等の単会行事と重なる時は絡めて、そ

れを足掛かりにして活動をする。

・そして役員の歩調が揃わない時は、行動会議や食事を企画して環境づくりをする。

・庄内中央、山形市、山形中央、酒田市の勢いに続こう。

以上のような事を提案して、残り2ヶ月を切った所で行動開始を促したところでしたが、現在（7月10日）1,600社に向けての未達数50社であります。

先般の県役員会で各単会の目標数を提起して、承諾をいただき、各単会はそれに向けて、奔走されている事と思います。

7月31日までに1,600社の目標を成就し、8月は各単会の期首目標に向け、更に上積みをはかることで、次年度への足場固めをしたい。そして県役員が一人一社の入会を達成させることで役員の結束に繋がると確信しております。

今年度の数々の金字塔を讃えるためにも、1,600社の目標突破は絶対であります。



M S 委員会

有意義な人生を過ごすためにも朝型人間になることは大切なことであると多くの方々が思っておられると思います。

モーニングセミナー委員会としても今年2月14日（火）に岡ホテルにて退会防止、会員拡大に向けて県内の5単会を選出させていただき、会長、副会長、専任幹事、MS委員長、MS副委員長を対象に合同会議を行いました。目的は単会の活性化そしてMS出席者の増員、と言っても過言ではないと思います。

総評での鈴木会長からの一言、「MSの命はドキドキ、ワクワクだ」がMS委員会の活動の目標であると確信いたしました。

役員朝礼の充実、MSの参加の呼びかけ、受付は笑顔、名前を呼び合い声がけする。万人幸福の葉を大きな声で力強く輪読する。習慣化していないか？そうであれば打破してゆく。そして新鮮味のあるMSにする。その他の活性化は昨年度も申し上げましたが、司会進行役が当日の進行内容を把握して、ときばきとスピーディに進行することです。そのためにも役割担当者の出席確認を進行要領用紙に前日までに必ず記入しておくことです。また、各単会のMS委員はチェックリーダーとして指摘する習慣を身につけるべきです。もちろん、褒めることも忘れずに。

重点事項として、姿勢の徹底。「礼」お辞儀、挨拶の動作を



山形県倫理法人会 MS委員長 加藤 眞佐夫

揃える。「ハイ！」の実習での大きな声と気合い。「連絡事項」の内容の明確化。ということだけでなく判ったような気になるのだが、最近、鈴木会長に言われた習慣化によるハラハラ、ドキドキ感が薄らいできていることを所属する単会で最低限、私は感じております。

講師の方のせいではありません！会長始め役員の方々为本当に素晴らしい講師の方を選出なさってくれています。それであれば私事ですが平成19年3月14日のプレモーニングセミナーから他単会含めて264回参加させていただき、ノートにメモを取り、興味深いことについては調べたりもしております。こんなためになるMSに何故？と考えておりましたら一つ私なりに気がつきました。

私にとって講師がどなたでも参加することを心に決めておりましたので感受性を失い、モーニングセミナーのご案内というFAXをみて講師はどなただ？仕事は何をなさっておられる？「テーマ」は凄いテーマだな。で終わっております。今思うに映画と同じように予告が必要だと思えました。そこからどうしたの？そんなことってあるの？それはどうすれば良いの？以上、私の感じた勝手な申し訳ない意見でした。MS委員長最後の話としてお許しください。ありがとうございます。



全ては社風と社員パワー



山形県倫理法人会
朝礼委員長 五十嵐 慶三

会員企業の皆様方におかれましては、日頃より何かとご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、この度は「会報 最上川」第30号に、掲載の機会を得ることができましたので「朝礼委員会」の役割と活用について考えを述べさせて頂きます。会員企業の職場で行われている「活力朝礼」は、社風や人的質を向上させる上で、とても重要であり、日々「マニユアル」に基づき、繰り返し行うことよって得ることも、非常に多いと感じます。しかしながら、マンネリ化から打破し、さらなる「レベルアップを図りたい」とか、「他社様の取り組み事例を見てみたい」という会員企業様も増えてきているようです。

そこで今回は、「取り組みられている朝礼の様子」をアンケートとしてお答え頂き、朝礼取材等ご協力頂ける会員企業様に、担当朝礼委員が各ブロックのエリアごとにカメラマンと同行、朝礼実演の様子や、朝礼の着眼点などについてお聞きしながら、後々「事例集」ということで編集させて頂く予定です。これらの貴重な「朝礼事例」をDVDにまとめ上げ、会員企業様へ貸し出し、「活力朝礼」の励みとし、「朝礼コンテスト」と同様、まだ朝礼を導入されていない企業様向けのツールとして、ご活用頂けるように取り組んでまいります。

今回のアンケート内容として、下記の要綱にまとめてみました。この狙いとポイントは、「社員の持つ力の結集」と「社風づくり」であります。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

事例募集およびアンケート記入のお願い

Q1 貴社所属の倫理法人会、会社名をご記入願います。

所属 () 倫理法人会)
会社名 ()

Q2 朝礼の実施状況をお聞きたいします。

・毎日 ・週1 ・週2～3
・実施していない ・その他 ()

Q3 具体的にお聞きたいします。

・今後もやらない方向 ・模索中
・回数を増やしたい ・活力朝礼に興味あり

Q4 朝礼の効果についてお聞きたいします。

・社内に活気に溢れてきた ・社内が綺麗になった
・あまり変わらない ・効果なし

Q5 貴社の朝礼で特徴的なところをご記入願います。

Q6 今後の検討課題などありましたらお聞かせください。

Q7 「朝礼取材」に応募された会員企業様に、「朝礼事例集」DVDを進呈

・取材に協力可能 ・取材協力不可能 ・その他 ()

山形県倫理法人会事務局 FAX 023-646-7660 までお送り下さい。
※コピーを取るか、切り取ってお送り下さい。(8月末まで)

女性倫理講演会



山形県倫理法人会

女性委員長 菅野 美奈子

7月18日(水)、女性倫理講演会を天童温泉ほほえみの宿滝の湯で開催しました。講師は、高松祐子法人スーパードバイザー、『今を輝いて生きるには』というテーマで講演をいただきました。



今回は、会員が心から楽しめるひと時を、そして県内の女性会員が、ゆっくりと語り合い交流できる場をということで、50名定員で食事付き、交流の時間を設けての開催となりました。庄内、置賜ブロックからバスを一台ずつ出すことができ、安心して参加していただき、往復の時間も楽しいひと時であったことと思います。

県会長他ご協力くださいました方々、女性委員会の皆様、本当にありがとうございます。

した。

日頃、家事、育児などでモーニングセミナーに参加できない方や、非会員の方にモーニングセミナーの様子をお伝えしたく、講演の前に、「夢かぎりなく」を斉唱し、十七カ条斉唱と万人幸福の葉を輪読しました。非会員の方の中には、「びっくり」「私はできない」という感想もありました



が、会員の方でも、いきいきと読まれた方とドキドキしながら挑戦して下さった方がいらっしやっただと思います。

講演後は、おいしい食事の後、一人ずつ自己紹介などのスピーチをしました。講演の感想の他、質問もたくさん出まされて、高松S.Vはその場で回答して下さい、皆、大変満足のひと時でした。

高松S.Vのお話の中で「まさかの坂」が出てまいりましたが、家族の愛や倫理の心で乗り越えられたこと、その家族の愛の深さに驚きと感動がありました。参加者からも「もう一度聞きたい」「続きを聞きたい」「もっと聞きたかった」という感想を頂くほど、本当に素晴らしい内容でした。

今を輝いて生きるには、心を軽やかに笑顔

でいればよい。

笑顔は人に見ていただくもの。相手の心を大切に、感謝の心で接する。明るい顔づくりは一生の修行でもある。明るい心を持ち、プラスの言葉を使う。

救われたのは、誰もが併せ持つ「暗い心」についてもお話されたこと。人を責めたり、人のせいにしてたり、この気持ちは「いけない」と思って、捨てればよい、拾ってもまた捨てればよい。

倫理の学びは「わがままを捨てる」こと、大切なことをたくさん学ぶことができました。

親に「感謝する、大切にすること」は皆がすること。そこに「倫理の心を添えなさい」。倫理の心を添えると「相手を喜ばすこと」。このことは、お仕事、お客様に対しても同じことが言えるので、私の一番心に残った言葉です。

女性会員が楽しく元気いっぱい活動できますよう女性委員会は倫理の心を添えて頑張ってください。今後ともよろしくお願ひします。



第1回 山伏修行体験塾

鶴岡市羽黒山・月山・庄内町を会場として、7月2日・3日の一泊二日で行われた青年委員会第1回山伏体験塾は非常に充実した催しとなりました。参加者は20代〜60代と、想定よりも幅広い22名（男性20名、女性2名）の倫友にご参加いただき本当にありがとうございました。

●日常では得られない時間を過ごす

青年委員会の運営目的の一つに「若い世代へ純粹倫理・倫理の実践を広げる」というものがあります。特に20代・30代の場合には経営者・社員の皆さんを問わず、まだまだ人生経験が少ないのではないかと考えられます。人生は困難の連続だという見方もありますので、日常では得られない時間を過ごすことで純粹倫理の理解を助けることになるだろうという発想から山伏体験修行が選ばれました。

●やればできるといふ体験

山伏の精神を体験することで自分自身を見つめ直すことを主旨として行いましたが、修行を通じて困難を正面から受け止めそれを乗り越える鍛錬の場となり、日常の仕事や家庭での姿勢を省みることができたと確信しています。「これからの考える時間が多く持てた



のが良い経験だった」という感想を頂けたことがとても嬉しいです。「人は困難に立ち向かった時にのみ成長できる」という言葉を聞いたことがあります。また、「思い切って困難へ飛び込んでみると案外出来るもの」ということを知ることが出来ます。それを実践できる場が山伏修行体験塾だったと思います。（残念ながら「言わず語らず」という山伏のルールがありまして修行内容を詳しくお伝えできませんが、滝に打たれたり山道を地下足袋で延々と歩いていくような修行ですよ）

●夏の山伏を全国へ広げよう

「冬の富士研、夏の山伏」というキャッチフレーズを掲げて東北・全国から倫友が集う

事業に育てていきたいと思えます。幸運にも山形には出羽三山という歴史的に貴重な土地があります。東北・全国の倫友へも紹介したい手はありません。今後が本当に楽しみです！

●来年度もやります！

最後に、会場の手配や運営の多くを引き受けて下さいました鶴岡市倫理法人会青年委員会の皆さんには厚く御礼申し上げます。本年度も引き続きよろしく願いいたします。「受けたもう!!」



ブナ文化フォーラムに参加して



米沢市倫理法人会
事務長 齋藤 喜一



平成24年7月7日(土)～8日(日) 小国町(南小国) 会場で開催されました県主催のブナ文化フォーラムに参加させていただきました。あいにくの雨となり大幅に予定が変更になりましたが、雨だからこそ体験できたこともありました。

雨の中、地元セラピニアテンダントの方は、増水の状態、我々が散策に耐えられるか等判断するため現地を精査して、いよいよ「白い森温身平」ブナの森散策の決行です。「清流と残雪の飯豊山連邦」のイメージから一変して、濁流と雨の道にぬかるみながらの行進です。ブナ大木をおおぎながら、流れる滝にブナの木がもっている保水能力に改めて感動しました。

ブナ文化フォーラムは「地域代表や閉校舎で制作活動している方々、役場職員との交流会」です。

小玉川地区には「自然環境や独自の食文化、さらには人々のホスピタリティ」など小玉川地区にしかない魅力があります。これらの魅力を地域で育った若い世代が理解して、老若男女地域全員で地域興しをやり生活の将来像を描かれると良いなと思いました。

翌朝のモーニングセミナー講師は熊谷県相談役です。一昨年に拝聴したときの感動が蘇りました。ひとこと一言の言葉の重さに身を熱くして聞き入りました。

「得るは捨つるにあり 捨我得全」家に帰り何度も読みました。

最後になりますが、伊藤善吉氏はじめ小国町の関係者に魅力あふれる企画を提供してくださったことに感謝いたします。



倫理経営企業の素顔

第7回

山形市蔵王倫理法人会 山形小松フォークリフト株式会社

山形市蔵王倫理法人会の山形小松フォークリフト株式会社様を訪問いたしました。

全国トップクラスのフォークリフト販売シェアを誇る同社。販売以外にもレンタルや整備のサービスも行っており、お客様をトータルでサポートする会社として愛されています。

◆活気があり気持ちの良い朝礼

毎朝、社員さんが出社してからまず行うのは掃除。我先にと競うように早い時間に出社し掃除に取り組んでいます。決して手を抜かず、隅々まできれいにしています。

8時20分に外でラジオ体操がスタート。外の空気を味わいながら爽やかな気持ちになり、心も体もリフレッシュさせ、活力朝礼へ挑みます。

総勢27名が集まり、開始のベルが鳴ります。

全員のピシッとした姿勢が始まり大きな声で「おはようございます！」と元気な声が揃って発せられます。進行による各部署の出席確認があり、キビキビと状況

を報告。

次に7アクトを斉唱するのですが、驚くことに全員がほぼ暗記した状態で斉唱します。

そして凛とした空気の中で職場の教養を輪読。ハキハキとスピーディーに読み上げられるさまはとても気が引き締まります。

その後、代表が感想を述べ、一同最後まで緊張感を持って活力朝礼を締めくくりました。

◆活力朝礼による社員さんの意識改革

活力朝礼を毎朝行うことにより社員さんの意識も変わってきました。

やはり最初は反発が付きもの。





朝礼研修を全員で受け、入会してから2年目より活力朝礼を取り入れました。ある職場の教養のテーマに「早寝早起き朝ごはんを大切に」という内容が。その回を輪読したのが、社内でも最も出社が遅い社員さんでした。当番として感想を述べるために、いつもより30分早起きして朝から何度も何度も読み返したそうです。感銘を受けたその社員さんは、その日から早起きして段取りも済ませ余裕を持って出社するようになりました。その結果、仕事の効率も良くなり今では責任ある立場に抜擢されました。このように、読むだけでなく、ちゃんと実践してこそ身についたといえるでしょう。

朝礼研修を全員で受け、入会してから2年目より活力朝礼を取り入れました。ある職場の教養のテーマに「早寝早起き朝ごはんを大切に」という内容が。その回を輪読したのが、社内でも最も出社が遅い社員さんでした。当番として感想を述べるために、いつもより30分早起きして朝から何度も何度も読み返したそうです。感銘を受けたその社員さんは、その日から早起きして段取りも済ませ余裕を持って出社するようになりました。その結果、仕事の効率も良くなり今では責任ある立場に抜擢されました。このように、読むだけでなく、ちゃんと実践してこそ身についたといえるでしょう。

またサービス員の方々も7アクトの一節、「気づいたことは即行即止、間髪いれずに実行を」を自然と呟きながら精度の高い仕事に取り組んでいます。

◆企業のトップリーダーとしての実践と心構え

社長が以前、山形市蔵王倫理法人会会長を務めていた際、会報「蔵王」にコラムを連載していました。その中に「挨拶、返事、後始末」という文章があり、全国を回っているメーカー様より「日本一のリフト販売店だ」



一見気づかないような所にも気を配り、念入りに掃除をしていらっしゃいます。ある日、掃除をしようと便器の裏蓋を開けてみるといつもの汚れは無く、ピカピカになっていました。社長は勿論、掃除の事を社内でお知らせしたことがありません。しかし、社員さんはいつしか気づいて感謝の意もこめて掃除をしていたという事なのです。ひたむきな社長の姿勢に社員さんの心が動かされた出来事でした。

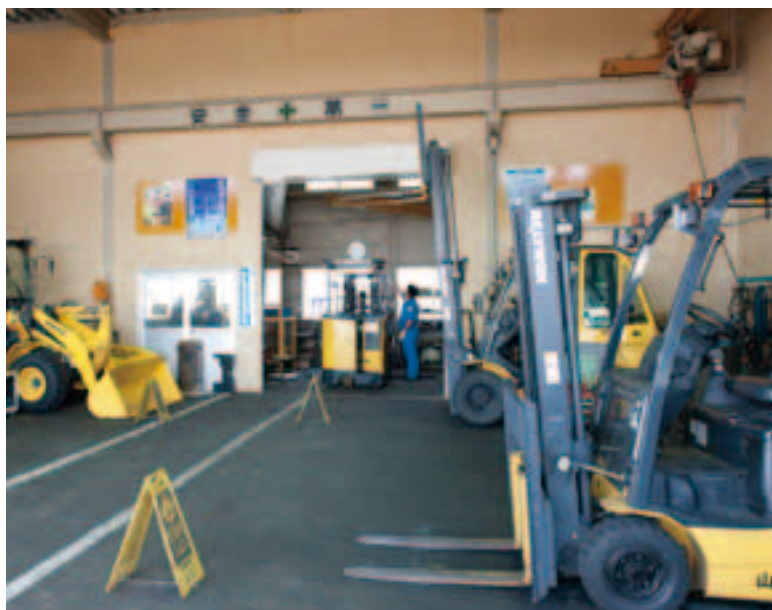
◆地域社会への貢献に役立っている倫理

社員さんは毎朝社屋を掃除するのは勿論、会社周辺地域も掃除します。また、フォークリフトや除雪機を取り扱っている会社ということで、作業中の災害事例安全カレンダーの配布、資格取得の支援、安全講演会等を通して、お客様の職場の労働災害ゼロを支援し、感謝されています。

◆お客様のみなならず業界への貢献

お客様の元へサービスの出張で伺った時、別のサービス会社がそのメーカーのエンジントラブルの修理をしていました。サービスマンが依頼を終了し帰社しようとした時、まだそのエンジンは直っていませんでした。

そこで修理をしていた他社のサービスマンがコチラを見るなり、「ディーゼルエンジン



「がわからないので教えて欲しい」と申し出がありました。普通の企業ならわざわざライバルを助けようとはしないでしょう。しかし、サービスマンは快く引き受け、点検してみました。すると、異常の原因をあっさりで見破り、ものの数分で修理してしまいました。お客様のみなならず、同業他社にも頼られる小松のサービスマン。

背景には社員さんの資格取得の徹底がありました。この社内制度により技術を磨き、絶大な信頼を得ているのです。

そして信頼を得ているという自信が、困っている人を見過ごさない、見返りを求めない、ゆとりのある心を生み出しているのです。

◆山形市蔵王倫理法人会へ

倫理法人会に入会してから2年で会長を拝命し、色々な事に着手してきました。

中でも各委員会がうまく機能するように、会食の場を設けるよう提案しました。

委員会について、メンバーの顔がわからない、何をやったらいいのかわからない等、色々問題点がありました。

会全体の連帯感や各人の人となりがわかるように、コミュニケーションがとれる場を積極的に持ち、活気のある、模範となれるような、そんな山形市蔵王倫理法人会を目指していききたいですね。



会社の窓口に置いてある、フォークリフトのミニチュア。

設立5周年記念式典及び特別講演



長井市倫理法人会
実行委員長(副会長)
高石 一夫



長井市倫理法人会は、会員企業様の暖かいご協力のもと5月9日、5周年を迎えました。本当にありがとうございます。そして記念式典には、鈴木県会長、設立時にご尽力をいただいた小島県副会長をはじめ各単

会の役員の方、会員企業様140名が集い、菓匠三全代表取締役社長、田中裕人氏より「未来に旗をたてて」と題して講演をいただきました。50年前かりんとう売りから始まり山形での行商時代の苦労話、萩の月の開発秘話、一番売れたお菓子と、一番おいしいお菓子、シュークリームと長崎カステラのコラボから誕生。社長のもの考え方により企業が発展していく仕組みなどを講演していただきました。

設立10周年記念式典



天童市倫理法人会
専任幹事 高橋 進一

昨年は東日本大震災という未曾有の災害が発生しました。当たり前の日常がいかに尊いものを痛感させられ、そして、いかにして希望の明日を切り拓いていくかを思い知らされました。また、「絆」に対しての励みとありがたみ、そして強みを胸にいただきました。「絆」は正しい生き方の励行によってこそ、芽生え大きく広がっていくものです。



MS参加人数に苦慮し続けた設立からの10年。ようやく、MSおよび役員朝礼までも「天童らしさ」で楽しく明るくチーム天童で実施できるようになってまいりました。初代矢吹会長から五十嵐会長、水沢会長と受け継がれてから10周年。記念式典では、設立からこれまでの経緯を中村スパーバイザー、矢吹初代会長より拝聴する機会のある式典を執り行うことができました。

式典に引き続き「致知出版社藤尾社長」の記念講演会では、

300余名もの参加をいただきました。生命をうけてから「教え」によって個性を発揮させ、



「節」に出合った時に、個性がぶれるか、あるいは乗り越えることができるのか。成人としての学びは「徳性を養う」等々の人格を高める学び「人間学」について、会員以外の多くの方からも深い感銘を抱いていただくことができました。

このたびの記念講演会は、きっと自己変革実践のための一助になり得たことでしょう。私たちは常に「正しい生き方」を学び続け、果敢に実践し続けることによって、人間性を向上させていきます。そのうえで、希望の明日を切り拓いていかなければなりません。

記念式典および記念講演会にご尽力ご協力いただいた皆さまに心より深謝申し上げます。

天童市倫理法人会はこれまで以上に、「正しい生き方」を根ざした経営者の「絆」を広めてまいります。今後とも皆さまからのご指導とご協力をお願い申し上げます。ありがとうございました。

単会トピックス



天童市倫理法人会
広報委員長 菅原 雄一

(社) 倫理研究所様より、法人局普及事業部長の内田文朗理事と、埼玉県倫理法人会様より、小山福松副会長をお招きして4月17日天童市の倫理経営講演会を開催させていただきました。会場は満席で、皆さん一心不乱に聞かれておりました。

内田理事のご講話では、ご自分の体験をもとに朝起き的重要性をお話していただきました。倫理研究所でどのような勉強をしたか、同期の方のお話を交えながら、ご自分の心理的な変化をお話いただきました。成功する人は、目の前にきたチャンスをつかみ、継続していく事が出来る人だそうです。チャンスをつかむ為に、日頃からチャンスに気づくための練習をしておかなければならない。それは、気がついたらすぐ行動する。目がさめたらすぐ起きること。そして、苦しみ・苦難にあったときは決して逃げたりせず、実行を継続していく事。ご自分の過去のエピソードにそってお話していただきましたので、話に引き込まれていきました。

小山副会長の事業体験報告では、企業経営をされる中で、創業者の教えを忠実に守り経営をされていることをお聞きしました。「堅実、儉約、謙虚」(3ケン)を守る事や「働きの一両、知恵借り十両、ひらめき百両、見切り千両、無欲万両」ダメだと思つたらすぐ見切る事。やめるといふ事は非常に勇気が必要で、難しいが、ズルズルとやっているところにもなくなってしまう事。その他にもいろいろと教えていただきました。非常に活力があり、パワーをいただける講演会でした。



米沢市倫理法人会
朝礼委員長 鹿俣 貴裕

平成24年度の米沢市倫理法人会の倫理経営講演会が、4月18日にグラウンドホクヨウ紗紅蘭にて開催されました。埼玉県新座市倫理法人会の岩沢満氏から事業体験報告を、社団法人倫理研究所の内田文朗理事から講演をそれぞれ聞かせていただきました。

テーマは、「朝に活路あり」です。年に1度の講演会ということもあり、多くの方に参加していただきました。若かりし頃の体験談から富士研修所での修業時代のお話と実体験に基づくお話は、非常にインパクトがあり印象に残りました。普段、倫理のお話を聞く機会のない方も刺激を受けて下さったのではな

いでしようか。これを機に是非、毎週のモーニングセミナーにもご参加いただきたいと思います。



山形市中央倫理法人会
会長 布施 寛将

自信につながった設立7ヶ月での倫理講演会開催

山形市中央倫理法人会は、お陰様で9ヶ月を迎える事ができました。会員皆様の御協力に心から感謝を申し上げます。毎週行われるMSも益々熱が入り、他県よりいらして頂いた講師の方々に、驚かれる程です。我が単会の役員朝礼を初め、皆さんで行う活力朝礼も、荒木方面長より気合いのこもった教えをいただき、益々深化していると思っております。

設立7ヶ月目で迎えた4月25日の倫理講演会では埼玉県会長による事業体験「成長している企業の共通点と倫理実践」、法人局松岡賢法人アドバイザーによる「朝に活路あり」という講話をいただきました。251名様のご参加を頂き、会員一



同の心遣いにより大盛会のうちに終了する事ができました。

倫理講演会を終え会員様、役員さんがひと回り成長されたように思えます。今、次年度役員決め新时期。山形市中央倫理法人会の更なる発展を目指し、明るい希望を持って前進してまいります。



寒河江市倫理法人会

MS副委員長 鈴木 俊雄

平成24年度寒河江市倫理法人会 倫理経営講演会

平成24年度、寒河江市倫理法人会、倫理経営講演会が5月に開催され、事業体験報告では「人生神劇」と題して、小林景広島県倫理法人会会長が事業を継ぎ、勝負をかけた東京進出、お取引いただくまでの苦労の日々、



業界の頂点を極め更なる拡大へと短い時間でもし得た貴重な体験談は多業種に渡りご参加いただいた皆様方に通じるものがありました。

講演では、寒河江に所縁のある川又久萬氏の長男、川又寿

久九州・沖縄方面方面長が「朝に活路あり」と題して講話されました。

「心」が表われるものは、性格（言葉・動作）、人相（表情）、健康（姿勢・呼吸）これが人格で、環境と深くかかわっているということ、純情な心でなければ物事・人・未来を正しく見抜くことができない。「純情」と「心」を得々と語られるところは父親ゆずりの説得力のある講演でした。



新庄最上倫理法人会

広報委員長 中鉢 幹次

新庄最上倫理法人会 倫理経営講演会

去る5月28日にザ・リヴィントンにおいて、第3回目の倫理経営講演会が開催されました。はじめに倫理研究所法人レクチャー板橋清氏から「運命は天にあり―運命自招」と題して講話をしていただきました。倫理との出会いによって経営理念を明確にし事業方針を定め、今までの経営を変革するまでの苦労と倫理実践の取組みを自らの体験を通してお話しいただきました。富士研究所のセミナーに8回出席し、両親に感謝して感動を覚えた出逢い。早起き、清掃、みそぎ、親孝行の実践を通しての体験は、倫理を学ぶ者にとって力強い後押しになったのではないかと思います。

す。次に倫理研究所法人局参事法人アドバイザー、森田良次氏に「易不易」と題して講話をしていただきました。

時代の流れや経営環境を見据え、易（変わる、改める）不易（変えてはならない）の部分をかちんと見極めることが重要だと力説。そのための不易実践と日常の実践のご指導をいただきました。これらを経営の基本とし心に刻み込むと共に日常実践も心がけたいと強く感じました。最後にモーニングセミナースローガン「今日一日 朗らかに 安らかに 喜んで 進んで 働きます」を全員で大きな声で斉唱して終了しました。



鶴岡市倫理法人会

副会長 栗本 正幸

6月13日鶴岡市倫理法人会『倫理経営講演会』には多数の倫友の皆様よりご出席を賜りありがとうございました。

この倫理経営講演会は鶴岡市倫理法人会が年に一度、会員企業様のみならず、多くの方に企業倫理、家庭倫理の大切さを知っていただく大切な機会です。

当たり前の事をただ愚直にやっっていく、そ



れが当たり前でない世の中において、多くの方が、その事の大切さに気づいていただければ、感じていただければ幸いです。

さて、今回のテーマは『易不易』倫理研究所法人局普及本部長、内田文朗氏の講演でした。倫理研究所の創始者である丸山敏雄は、自然の法則から「易不易」の原理を発見し、永続的に繁栄するためには「易・変わる・変える」と「不易・変わらない・変えない」の両面バランスが重要であるとしています。

今、日本全体が混沌とする中、企業、経営者としては事業の本質をより深く求められている時代の様な気がします。経営においては外部環境は常に変化し、同様に企業も変わっていくかなければ生き残れないのは周知とするところですが、しかし、企業理念であったり、会社の根幹とするところは変えてはならないものだし、脈々と受け継がれていくものだと思います。事実、何代にも渡り事業継承されている企業さんはその部分が実にしっかりとっておられま



す。
来年もまた、同じ時期に開催したいと思えます。是非お越し下さい。



長井市倫理法人会
専任幹事 那須 喜美子

平成24年度倫理経営講演会を開催して

協同・創造・未来の鼓動・実感 ながい
水と緑と花の町 長井の3番目の花、あやめ公園のあやめ祭り真最中の時、6月19日(火)内田文朗普及事業部長をお迎えしての第5回目の倫理経営講演会をタスパークホテル2階コンベンションホールにて、未会員の参加社(者)にも多くのご来場いただき盛会に開催することができました。

動員の工夫としては、実行委員会を組織して、今年の4月から7月まで月1回の開催、5、6月は2回のペースで委員会を開催して、動員目標をチェックしてまいりました。又、5月8日(火)の設立5周年式典の開催の時期と重ねながら計画を進めてまいりました。100社を達成し資格復帰を図るべく、「まさか今週仕事していないよね」を合言葉に普及拡大週間と並行して、併せて倫理経営講演会のPRをしてまいりました。現在、85社ですが7月末日まで90社、8月19日には100

社復帰して資格復帰を目指します。特に実行委員の皆さんには、当日台風4号通過中の時、動員していただき又、未会員の友人、知人、関係者等に周知を図ることができましてまことにありがとうございました。

内田文朗部長の講演内容も『朝に活路あり』のテーマで60分間の適宜を得た内容で、ご講演を頂きました。また伊藤俊郎宮城県登米市倫理法人会相談役の事業体験報告「万人幸福の葉は私の証明書―想い願い事は叶う―」のテーマでご講話を頂きました。

参加社の皆さんからも倫理法人会の活動、内容等について理解をいただき、長井に倫理運動が定着するきっかけになる講演会だと確信しました。今後ともモーニングセミナー、イブニングセミナー等に参加していただけるようお誘いをして倫理の輪を広げていきます。

今回は、5周年式典と倫理経営講演会とビッグイベントが続き、役員会員一同、心を一つにして成功に向けて準備してまいりました。本当にありがとうございました。ございます。やればできるということを学ばせていただきました。

最後に、県内の各倫理法人会倫友の皆さん、当会の会員皆さん、特に未会員の皆さん





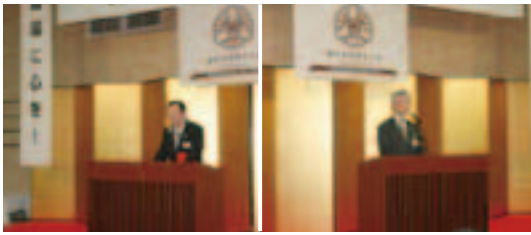
んに、ご参加いただき厚く御礼を申し上げます。
感謝・感謝でございます。誠にありがとうございます。



酒田市倫理法人会
会長 安藤 政則

倫理経営講演会に学ぶ

昨年は理事長を御迎えして1000人講演会を行いました。鏡と言うキーワードで夫婦愛和の4つのポイントを戴きました。①相手をそのまま受けとめる。②相手にそのまま合わせる。③同じ方向を向いて進む。④相手を喜ばせる。夫婦、家庭が基本を改めて教えて戴きました。



本年は6月26日に、会員の大商金山牧場様9名による大元気の朝礼実演に続き、法人局島良明法人スパーバイザーから講話を戴きました。テーマは「朝に活路あり」です。

西郷南洲翁の敬天愛人か



の時、朝起きは我ままを克服すること、敵は己の中にあり、己に克つ事により道は開ける。改めて朝起きの効用を確信致しました。

山形市倫理法人会

広報委員長 岩見 信弘

平成24年6月19日

(株)シベール 特別顧問 熊谷眞一氏を迎え100人モーニングセミナー開催

当日は100人の参加目標に対して157人の方が参加。足りない椅子の補充に追われながらうれしい悲鳴を上げる事となりました。熊谷氏は「人生は意思決定の連続」と題して講話をされ、昭和39年ころ大江町でウツウツとしていた時「ひよっこりひよっうたん島」の主題歌「丸い地球の水平線に何かがきつと待っている。泣くのはいやだ、笑っちゃおう」の歌詞に励



まされ山形市へ。そこからシベール物語が始まりました。現在、わが子よりかわいいシベールを卒業。新たに株式会社価値創造を立ち上げ、4月には東北芸術工科大学院に入学。今なおチャレンジし続ける熊谷氏に沢山の気づきを頂きました。

倫理を学んで



上市市倫理法人会
専任幹事 谷江 正照

倫理を学んで、「これなら出来るかも」と、そう思い実行したのが「脱いだ靴を出船の向きに揃える」ことでした。

はじめは子供たちにも、「靴を揃えなさい」と文句を言いながらの実践でした。

そのうち小言を言いながら揃えるのではなく、黙って自分自身がやればいいと気付き、最近は室内履きのスリッパの向きも揃える今日この頃です。

そんなことを2年前の上山の広報誌に寄稿しました、それまでは「靴を揃える」という行為のみでしたが、最近はその実践に「揃え

る際に心で念じること」がプラスされました。その「念じていること」が現在私が倫理を学んで得たものです。しかし、時々その思いと裏腹な心持ちになるのはなぜでしょう？「まだまだ私は倫理を学んでいないな」と思うところです。



南陽市倫理法人会
朝礼委員長 篠沢 邦和

「朝、だから」
毎週火曜日の朝「あんなに早く会社に出掛けるの」と不思議がる隣の奥さん。「朝の勉強会に。若いときしなかったから」犬の散歩途中の会話です。

朝の作業は、日中の何倍も進むと農家の方に聞いた事があります。朝の清々しい空気が一日のスタートを後押ししてくれます。

毎週の役員朝礼は、まず元気を出すようにすると、不思議に気持ちが前向きになります。朝だから出来る。朝しか出来ない。そんな気持ちで自分を成長させてくれれば。会社でも毎朝「職場の教養」を交代で輪読、感想を述べていますが、皆さんのやり方を参考にさせて頂きながら、自分から進んでやるのは遣り甲斐があるものです。

「継続は力なり」そんな気持ちを持ち続けられるように日々勉強です。



真ん中が造形作家の犬飼とも様。
左が倫理研究所の田中範孝常任理事、
右が同じく中西康成理事。



NPOワタノハスマイル様への
タグボード支援が決定

東日本大震災
教育支援基金

NPOワタノハスマイル様への支援が決定

「子供たちがガレキで 復興のオブジェを制作」

山形県倫理法人会から研究所に推薦させていただいており、NPOワタノハスマイル様へのタグボード支援が決定いたしました。犬飼様の今後のご活躍を祈念申し上げます。

「ワタノハスマイル」は、石巻市渡波小学校の児童が、津波で校舎に流れ着いた「町のカケラ」を使って制作したオブジェ。造形作家の犬飼ともさんが避難所でのボランティアの一環として始めた活動です。子供たちの作品は全国で巡回展示され、春にはイタリアのおもちゃ博物館でも展覧会が行われました。現在は「復興のシンボル」として、石巻市内に子供たちのオブジェを常設展示する「カケラのチカラ」プロジェクトが進行中。外から展示を見に来た人と一緒にガレキを拾い、オブジェを制作するワークショップを行う計画もあり、石巻に人が集まる仕組みづくりを目指しています。



故 中村俊光氏を偲ぶ

寒河江市倫理法人会

広報委員長 海野 晋

寒河江市倫理法人会は平成15年7月に設立しました。その設立時に、正会員化に向けて大きく貢献したのが中村相談役でした。自らが初代会長となり、多くの企業に声掛けをして、設立日には100社を大きく超える151社で県内四番目の単会を誕生させたのでした。

その持ち前の行動力と倫理に対する深い理解、そして会をここまで育て上げた忍耐力と真摯な取り組みで、寒河江市倫理法人会を県内外に知らしめただけでなく、山形県倫理法人会ここにありと県内外問わず積極的に講話に行かれました。「人生には3つの『さか』がある」という話を中心に、氏自身がどん底から這い上がってきた貴重な体験を聞かせてくださいました。その話を聞いた我々は「まだまだやれる事はたくさんある！」とやる気を頂いたのでした。そのパワーをもって、丸菱食品様のRINRI17000の取得、寒河江市倫理講演会日本一の動員など、数々の逸話を生みだしたのでした。

そして、中村氏といえば、エイジシュートやホールインワンをしたとか、シングルの腕前だったとか、ゴルフの話題が尽きませんが、書道にも精通されておりました。色紙を書かれたり、写経されたり、単会の垂れ幕、県広報誌「最上川」、単会広報誌「寒河江川」の題字を書かれたりしました。また、齢七十を越えても食欲に学ぶ精神には圧倒されました。氏の座右の銘である「万象之我師」は、まさに人柄そのものであったと思います。



相談役は、亡くなる間際まで、お会いするたびに日本の行く末と企業倫理のあり方を憂いておられました。250歳まで生きるとおっしゃっていた中村相談役。きっと仙人となり、今でもどこかで我々を阿々と笑って見ているのではないのでしょうか？ご冥福をお祈りいたします。

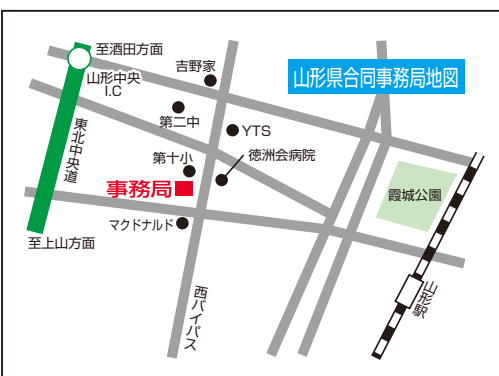


編集後記

山形県倫理法人会
広報委員長 土屋 和浩

今年度最後の広報「最上川」です。今号は記事が多く、20P仕立てになりました。広報誌は当会の現在を映し出す鏡です。記事が多いということは、委員会、単会活動がとても活発だったということでしょう。

鈴木会長3年目の活動がまもなくスタートします。これからのような「倫理物語」が展開していくのか？今からとてもワクワクしています。私の好きなテーマに「しんか」があります。次年度は「しんかII新化・進化・深化・真価・新加・心華・賑価」という局面がそこかしこで起きそうです。皆さまがそれぞれのお立場で「感動と喜びの輪」の中心となってお活躍くださいますことを願っております。張り切って楽しんでまいりましょう！



URL
<http://www.yamagata-rinri.net/m/>